

平成 30 年度 国語科年間授業計画 [6年]

教科書：東京書籍

月	単元・教材	時数	単元の目標
4	1 朗読しよう ・サボテンの花 ・生きる ・図書館へ行こう ・ずい筆を書こう	10	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の感じたことや考えたことが伝わるように朗読することができる。 ●地域の図書館や社会教育施設の使い方を知り、必要なときに活用することができる。 ●体験した出来事を振り返り、随筆を書くことができる。
	2 文章を読んで自分の考えを持とう ・イースター島にはなぜ森林がないのか ・意見と理由とのつながりを聞き取ろう ・熟語の構成を考えよう	12	<ul style="list-style-type: none"> ●事実と意見との関係に注意しながら文章を読み、文章に対する自分の考えを持つことができる。 ●適切な理由を挙げて意見を述べているかを考えながら聞くことができる。 ●三字以上の熟語の構成を理解することができる。
5	3 人物と人物との関係を考えよう ・風切るつばさ	8	<ul style="list-style-type: none"> ●人物と人物との関係を手がかりに、人物の心情を考えながら読むことができる。
6	4 新聞の投書を読んで意見を書こう ・新聞の投書を読み比べよう ・問題を解決するために話し合おう	28	<ul style="list-style-type: none"> ●四つの投書を読み比べ、文章に表れている書き手の工夫について読み取り、自分の考えを持つことができる。 ●自分の意見を的確に伝え、相手の発言の意図を考えながら話し合うことができる。 ●読書への関心を高め、多様な本を読むことができる。 ●詩を読んで、自分が感じたことが伝わるように音読することができる。 ●複数の資料から情報を読み取り、自分の意見を伝えるのに効果的なものを選択して、自分の考えを述べる文章を書くことができる。 ●漢文を読んで内容の大体を知り、言葉の響きやリズムを味わいながら音読することができる。 ●平仮名と片仮名の由来と特色を理解し、日本語の表記について知ることができる。
	7		
8	・いま始まる新しいいま ・資料を生かして呼びかけよう ・漢文を読んでみよう ・日本の文字に関心を持とう	19	<ul style="list-style-type: none"> ●物語が自分に最も強く語りかけてきたことを短い言葉でまとめることができる。 ●構成を考え、想像したことが伝わるよう表現を工夫して物語を書くことができる。 ●相手や場面に応じた言葉遣いを理解し、適した言葉を選んで使うことができる。
	9		
10	6 町の未来をえがこう ・町の幸福論	15	<ul style="list-style-type: none"> ●複数の資料から読み取った情報を、目的に応じて活用することができる。 ●意図を明確に伝えるために、資料を効果的に活用して発表することができる。 ●和語・漢語・外来語の由来を理解し、日本語についての関心を深めることができる。
11	・言葉の由来に関心を持とう		
12	7 本を読んですいせんしよう ・ヒロシマのうた ・句会を開こう ・いこしえの言葉に学ぶ ・言葉は変わる ・出会いにありがとう	24	<ul style="list-style-type: none"> ●関連する本を読み、友達に読んでほしい本を推薦することができる。 ●言葉や表現を工夫して俳句を作り、互いの俳句を鑑賞してそれぞれの表現のよさを伝え合うことができる。 ●昔の人の言葉を読み、そこに表れている考え方を知って、自分の生き方について考えることができる。 ●言葉が時代とともに変化したり、世代によって言葉遣いが異なったりすることについて理解することができる。 ●意図が伝わるように、話の構成や話し方を工夫して話すことができる。 ●話し手の意図を捉えて、自分の経験や考えと比べながら聞くことができる。
	1		
2	8 将来の夢や生き方について考えよう ・プロフェッショナルたち ・6年間をふり返って書こう	19	<ul style="list-style-type: none"> ●文章を読んで、そこに書かれた人物の生き方から、自分の将来の夢や生き方を考えることができる。 ●6年間を振り返り、伝えたいことを見つけることができる。 ●伝えたいことが伝わるよう表現や構成を工夫して書くことができる。
3	9 未来に向かって ・君たちに伝えたいこと ・春に	5	<ul style="list-style-type: none"> ●文章や詩を読み味わい、自分の考えを深める。
計		140 時間	

<p>評価方法</p>	<p>学習の様子，準備物や家庭学習（長期休業の宿題を含む），提出物の状況 ワークシート，ノート，作文等の作品，発言・スピーチの内容，テスト，読書カード等</p>
<p>家庭へのお願い</p>	<p>○学習で使用する物・・・教科書，国語ノート，漢字ノート，漢字ドリル，国語辞典，漢字辞典 ○家庭学習 音読（速さ，抑揚，間） 漢字やローマ字等の反復練習（書き順や字形，丁寧さ） 辞書の活用（意味調べ，漢字調べ） 日記のテーマ選び（日常生活や新聞，ニュース等） 読書（1年間の目標40冊，高学年向き） ☆音読・読書カードへのサインをお願いします。</p>